

平成 29 年度学校評価制度実施報告書

【教育設計に関する分野】

- ①新教育課程の編成
 - 平成 29 年度探究コースの計画表（月別・授業）の作成。
 - 平成 30 年度探究コースの授業計画の検討と作成。
 - 学力定着・新大学入試制度に対応する教育課程の検討。
 - サイエンステクノロジーコースの見直し。
- ②ICT教育の充実・新教務システムの導入
 - 新教務システムの導入検討。
- ③不登校生徒対応
 - 学年会主導での生徒指導体制と担任へのサポート体制の確立。
 - 生徒指導記録の共有
 - スクールカウンセラー、外部機関との連携
- ④資格取得率の向上
 - 学校設定科目「自己探求」の授業活用。
- ⑤生徒保護者の満足度向上
 - 各種アンケートの実施と部署への提案。
（新入生アンケート・新入生保護者アンケート・地区PTA等）
 - 部活動・進路指導・生徒指導の時間確保の提案。

【学力向上に関する分野】

- ①進学実績 国公立大学合格に向けて
 - 難関大学合格のために、生徒一人ひとりが意欲的に取り組むための組織づくりの確立
- (1)生徒一人ひとりの受験方針・戦略の決定
 - 国公立2桁合格プロジェクト及び5教科担当者会議の定期開催。
 - 学部・学科の選択…個別面談を4月より実施し、6月には全員志望校の学部・学科を決定。
 - 難易度順復数受験方針…大学の難易度順復数受験方針を研究・検討し、5教科担当者会議にて受験指導方針を伝達。
 - センター試験対策…センター受験科目、強化科目、弱点克服の分析と指示を面談で実施。
 - AO入試・推薦入試対策…推薦・AO入試年鑑を活用し、志望校選択の指導（AO・推薦・小論文対策）を実施。
 - オープンキャンパス等の大学訪問
 - 信州大学進学者増の取組…地域リーダー育成奨学金給付事業の新設、信州大学入試問題の分析と特別講座の新設、信州大学各学部の見学会・説明会への積極的参加、信州大学の教授による講座（公開講座）や信大対応研修の実施
- (2)カウンセリングの企画・運営
 - 受験方針・戦略に基づいた3年間の道筋の理解。
 - クラス担任、進路指導部の進学担当者、教科担任で生徒状況に応じたカウンセリングを実施
 - カウンセリング情報の教員間の共有化
- (3)受験情報の整備

- 大学別赤本の整備
- 模試結果の情報収集と整備…受験別、志望別、合格別等
- 大学別、学部・学科別受験日程の分析
- 実力テストと模試結果・受験結果との関連分析と対策

(4) 受験対策の企画と運営

- センター特編授業の企画…学習指導係、各教科、教育設計、学年会との連携

② 授業企画づくり

- 国公立大学・難関大学のための学力育成
- 進路を開拓するための学力育成

(1) 学習支援の取り組み

- 各種講座の開設と運営…予備校講座・サテライト講座・eラーニング・Step by Step講座・センター対策講座・登校講座・夏季合宿・小論文講座・理科・地歴公民の0時限講座・ADテスト（補習講座含む）
- 全国模試の実施（進学指導と学習指導との連携）
- 学習支援センターの運営、信州大学学生チューター
- 「進学指導」「学習指導」の連携

(2) 授業づくり

- 生徒の学習状況の分析…クラス担任との連携（TMノート情報）による学習時間の分析
- 学習内容の分析…予習、復習、課題学習の分析と充実、つまづき発見と対策を実施。
- 学習バランスの分析…受験に対応した教科バランス、得意教科と不得意教科の分析
- 各教科との連携…ロードマップの作成と改善、学年ごとの学習到達目標の作成（模試データの活用、模試内容の分析、カウンセリング、授業企画会議）

③ 学力推移調査の実施

- 入学者の学力調査と指導内容分析、入学後の学力調査、生徒一人ひとりの学習分析（量と質）

④ キャリアセンターの充実とキャリア教育の完成

- 就職内定率100%…ヤングハローワーク松本・塩尻市・塩尻商工会議所・信州大学地域連携研究員・都市大との連携強化により、目標に向かって学習できる体制の強化。
- 進学したすべての卒業生に情報を提供。地域との連携で地域人材の育成。

⑤ ICT教育の充実・新教務システムの導入

- 教科毎に私学および本校ならではのICT活用の方法を作成し、教職員間で情報共有する。
- 全教室でiPadが使用できる環境構築を目指し、計画的に機材（校内無線LAN）を整備し、設置。

⑥ 国際教育

- 理解できる語学力から表現できる語学力へ、表現できる語学力からネゴシエーション力育成へ
- 文法や語彙力・語法などの知識を効率よく習得できるよう、授業の見直し（授業内容の改善、到達目標設定、英語検定の義務付け、ポキャブラリーテストの全校実施）を実施。海外姉妹校の検討および交流活動の開始。
- 運用能力を高める企画の実施。…イングリッシュシャワー・イングリッシュキャンプ・セブ島語学研修・留学生交流・オンライン英会話（全学年）
- 資格取得の学年目標を設定

【生徒活動に関する分野】

①部活動の活性化と強化部の拡大

- 部活動加入率目標、女子の加入率、大会出場目標
- 教員主導で新しい同好会・クラブを立ち上げる。
- 都市大グループ内の学校間連携として、生徒会交流を実施

②生徒会活動の活性化

- 委員会の定例化（月 1 回）
- 通学路の清掃（年間各クラス 1 週間 1 回）、植栽活動、通学路花植え
- パネルディスカッション各学年ステージ発表（半日を使い全員参加で一般にも公開）

③生徒指導数の減少

- 制服着用・整容指導
- 挨拶の習慣化と授業規律の改善と向上
- 日常指導、身だしなみ検査、朝・夕の立門、通学路・駅・列車内指導を実施
- 人権意識の向上…いじめアンケート調査を年 2 回実施